

掲載日	タイトル	catch the eye 短文
2013/8/3	写真の中へ	なぜかビルのクーラーが停止。出社している会社も少なくなく、代表して管理会社へ電話。ただし未だ稼働せず。終日この調子なら、午後からの来客には外で対応するしかない。こんなことになろうとは思ってもよらず、今朝朝食をとりながら目に入った8月のカレンダー。なんとも涼しそうにスイカをほおぼる小僧さんたち。愛くるしい。どこかの渓谷のようで、水しぶきに鳥もよるこぶ様子。この写真の中へ飛び込み一緒に涼みたい。



2013/8/6	品川ナンバー	夜半、大阪市内でも強い雨が降った。今日もまたむし暑くなりそう。駅から事務所まで、ハンカチを手に歩く。信号待ちが長い。なぜか車が混んでいる。目の前をゆっくりと通りすぎる。その中の一台、白いライトバンに目がとまる。運転しているのはオシャレな若い女性。華奢な感じが外からでもわかる。車と運転手がミスマッチ。どこから来たのかしらとナンバーを見る。なんと、「品川ナンバー」。もうずいぶん前、会社員だったころに東京生まれの上司が、「車はやはり品川ナンバー」と話していた。大阪流に言えば、品川ナンバーがなんぼのもの。でも今もそのこだわりは強く、訴訟を起こした人もいるとか。話題づくりとはいえ、“・・・?”。
2013/8/9	ことに乗じて	異常な暑さが続く、日中も夜も。昨夕の緊急地震速報、緊急情報としては誤報だが、予報の可能性ありと思ったりする。少々不穏な気配も感じつつ帰りの地下鉄に乗った。すると本町駅で電車が緊急停電。線路に人が落ちたための処置とのアナウンス。暗い車内から明るいホームへ出る人々。すると今度はホームで男性のわめく声。何があったのかと見ると、喫煙を注意する駅員に怒鳴っている、注意するより早く電車を動かせと。トラブルに乗じて、エラそうにする男性、年の頃は40代後半、吸殻はホームに捨てた。それを30代半ばの駅員が拾った。たくさんの人がこの光景をみていた。なんとも情けない中年男性。

- 2013/8/10 花火は夏の終わり
眩暈しそうな外の暑さ。今夜は淀川の花火。お昼過ぎからコンビニの前では店頭販売の下準備。夕方からの喧騒が想像される。花火は見たい。でも人ごみの中に入る気はない。子供の頃は、いつもの日と違う回りのざわめき自体に心躍ったものだけど。花火は夏の終わりの入り口。煌びやかな花火の消え際に侘び、寂び。すぎゆく夏を思わせる。
- 2013/8/13 祈る姿
祈る姿は美しい。恩師がいつかそう言っていた。今朝、お地藏さまに手を合わせる女性をみた。髪を後ろで束ねて上げ、白いブラウスにグレーのボトム。年の頃は40代半ば。前にも見かけたことがあるから、朝の習わしになっているのか。腰を落とし、背筋はのびて、凜としている。祈る姿がさまになっている。清々しい朝の光景。
- 2013/8/15 父子づれ
お盆休みウィーク、さすがに朝の電車も空いていた。車内でもホームでも、親子づれが行き交った。中でも父子が目についた。「ここって、なんば?」、5歳ぐらいの男の子が手をつないだ父親を見上げて、通り過ぎた。ベビーカーをひいて車内に入ってきたのは若い父親だった。赤ちゃんがぐずつき、ベビーカーから抱き上げて座った。父子だけのこういう光景はあまり見ない。空いた車内、ちらつ、ちらつと乗客がこの父子をみる。正面の当方は父親の顔が見える。端正な顔立ちがイクメンの模範のよう。しかし表情がなかった。子をあやす表情をしていない。冷めた感じが気になった。何か事情がありそうな雰囲気がして、後は目をそらした。
- 2013/8/17 いい関係
今日も残暑厳しい。朝飲むコーヒーもよくさませないと汗がふきでる。昨夕「カウンター口」でスペシャリティー・コーヒーを飲んだ。クーラーの効いたシックな店内のカウンター。先に二人の常連さんが端の席にいた。すぐにまた別の常連さんがきてテーブル席にすわった。店主がコーヒーを点て始めた。同時にカウンターの二人が席を立ち、お金を払おうとした。が、その手をとめた。店主はコーヒーを点てる手を止めない。お客が待つ。店主の手がとめるのを待つ。けっこう長い時間だった。美味しいコーヒーを点てるのに必要な作法、それをわかる常連さん。なかなかいい関係。
- 2013/8/19 季節をさきどり
ばたばたと日がすぎていく。目の前のことに追われないよう、身を少しひいて状況をみる。ささいなことだけど、気ぜわしさが薄れ、時間配分に小気味よさがでる。9月もまもなく。蝉の鳴き声はやんだ。デパートのディスプレイは秋物になった。朝のターミナル、秋の装いもチラホラ。まだ相当に暑いでしょうに。耳に、目に、少しずつ秋の始まり。
- 2013/8/21 初秋の満月
今日もおそろしいほど暑い。外へ出ると、思わず顔をしかめる。旧型の大きなクーラーがフロアの隅でうなっている。自動で温度調整しないから、冷房機に近い会社が時々送風に切り替える。でもここ数日は誰も手をかけない。切り替えなくても寒くならない。それほど外は暑い。今日は初秋の満月。この暑さでは、風流を愉しむ気もそがれる。いやはや、どうなっているのか、この気象。

- 2013/8/23 「センチメンタル・ジャーニー」
気がつけばあっという間に8月も残り一週間ほど。今日も朝から暑い。「処暑」がかすむ。熱帯夜続きの大阪。それでも虫が鳴いているからすごい。こんな暑い夜なのに、ちゃんと鳴いてくれてありがたいと感じ。今朝ラジオからは「センチメンタル・ジャーニー」の曲。子供たちにとっては刻々とせまる新学期。大人たちには待ち構える年末にかけた繁忙期。まだ非日常感の漂う8月の終りのムードは「センチメンタル・ジャーニー」に通ず。なかなかいい選曲。
- 2013/8/27 街の風景
ようやく秋の気配。昨夜は寒くて目がさめた。土曜、日曜の雨が秋を呼んだ。日中、カラッとした晴れのお天気になりそう。こうなると、出たついでに遠回りして歩こうという気になる。昨夕、京都から大阪へ戻り、グランフロントの西側を歩いた。こちらは車通りだけだから人はほとんど歩いていない。人口の川があり、木造の渡り場があり、広い通路を独り占めしながら進む先、木造の渡り場に座り込んだ男性一人。何をしているのかと思ったら、その場を陣取って、ピクニック。紙コップが2つあったから、連れの人にはビル内の化粧室にでも行ってるか。ここは公園じゃない。私有地。何より、美観をそこなう。人も街の風景の一部、ですよ。
- 2013/8/29 秋の気配
ようやく秋の気配。昨日の朝はうろこ雲が空をおおった。湿度も低く、カラッとして、陽射しはつよいけど、外を歩くのも苦にならない。ここ数日そうして歩く距離が増えたせいか、体重が少し減った。体は正直。ただし、これからは食欲の季節、あっという間に元にもどるはず。その分また歩けばいい、秋はそういう季節。

